

---

# 少女転生物語

りょう

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

少女転生物語

### 【NNコード】

N3324Z

### 【作者名】

りょう

### 【あらすじ】

ある時24歳の女が死んだ。  
恥ずかしい死に方だつた・・・  
あれ??起きたら知らない空間。私が死んだのはミス!!!  
誰か責任とつてよ~~~~~。

人生とは向て理不尽なの・・・

友1「アイツ、ドジだつたからな～。」

友2「まあね～。こんな死に方しても驚かないよ。」

友3「まさか、バナナの皮踏んでその反動道路に飛び出るとか在り得ないよね～」

友123「――」  
「今まで運がないとね～」

＜＜2日前＞＞

リオ「今日の夜勤も衝いてなかつたな～・・・」

そう、私 井上リオ 24歳 女  
顔は普通 知能 普通？ 性格普通  
運・・・マイナス100

思い起こせば、産まれた瞬間から運がなかつた。

産まれてすぐに、母が病死にその2日後に父が事故死  
父も母も身寄りは無く 天涯孤独 の身であった。

そのため、産まれてすぐに施設に入れられて。

しかし、ことある事に運の無い私は、6歳の小学校入学の時・・・  
存在を忘れられて、ランドセルなしで登校。  
それを知った園長が慌てて買い行つたが何故か売り切れ・・・  
届くまでの2週間ランドセルなし

中学入学 この時は流石に忘れられなかつたが、何故か学ランが届

くという奇怪な事が起こった、理由は入学前の検診と購入の際 業  
者が間違つて記入。

ジャージで1週間登校

### 中学卒業の時

園長の使い込みが発覚、園は封鎖 新たな園に行くにも年齢的に自立できると言われ 仕方がなく。

定時制の看護学校 と 高校 に行く事が決定した。（寮付き）

そして今日にいたるのだが。

今日は、検査室に行つたら何故かドアが開かなくなり、閉じ込められた。

「いつもの事とは分かつてているけど・・・いい加減なんで私こんなに 運 がないのかしら。」

とボヤいていた矢先

ツルツ

「 …えつ… うつ・・ウソでしょう〜〜〜！」

「」で意識が途絶えた。

井上 リオ 24歳

死亡

解因 考え事をしている最中 バナナの皮を踏み何故か車道に反動で行き、トラックに跳ねられ 即死

本当に理不<sup>タキ</sup>でした。

「う・・・

「あれ」「何所? ?」

確か、夜勤明けで・・・

あつ。 確かバナナの皮踏んで、車道に出て・・・

? ? 「死んだんですよ」

リオ「そつか〜〜〜！死んだんだ〜〜〜・・・しんだ？」

? ? 「そうです。死んでしまったのです。」

リオ「そつか・・・死んだのか。ってあなた誰? ?

? ? 「あつ！ 姿が見えないの忘れていました。」

パチンッ

? ? 「これで姿が見えますか? ?」

ソ「には白銀の髪の美しい女の人がありました。

？？「人ではないのですがね。」

人では無い？

？？「はい。私はこの世界を管理している神です。」

神ですか・・・神様はやはり綺麗なのですね。

神「神だと信じるのですか？」

だって、こんな真っ白い空間どうやつたって、人間じゃ作れないし、  
私今口にしないでいるのに、あなたには考えている事が筒抜けだか  
ら。

神「あなたは、賢いのですね。」

賢いと云うが、こんな考えでいないと 運の無い私はやつていけな  
かつただけなんだけど・・・

神「あなたには、誤らないといけない事があります。」

誤ること??

神「そうです、あなたの運の無い出来事は、私達 神の所為で起こ  
りました。」

神「そう、あれは25年前の事です・・・」

↖ ↖ 25年前 ↘ ↘ ↘

## 天界 最高神の間

不の神「転生の渦がおかしいぞ…」  
聖の神「制御できません…」

最高神「われが…」

1時間後

不の神「どうにか食い止めました。」「  
聖の神「しかし…なぜこんなことが。」

最高神「…」

悪の神「私だよ。」

不・聖の神「…」

不の神「貴様は…！ 封印したハズじゃあ！」

悪の神「な～に簡単な事だよ。封印はある者によつて解かれでん  
だよ。まあ…その序でに、転生の渦に悪戯いたんだよ。かわ  
いいもんだろ。」

聖の神「かわいいものではありません…！ 全ての世界の転生が行

わからなくなる所だつたんですねよーー

悪の神「それで?なんか困る?」

# 不の神「貴様は！！」

最高神「少しは、反省したかと思えば……」

悪の神「反省？？あはははははあ（笑）・・・俺に反省なんて文字はない。あるのは悪のみだ。」

最高神「・・・滅べ・・・」

こうして滅んだかに思えた・・・

悪の神「・・・・我はこれだけでは終わらん・・・」

ひんつ

## 聖の神「何てことを…」

最高神「・・悪の神は滅んだ、アイツが最後に放った物の処理をするぞ。」

不・聖の神「「はい！」

神「じうして、悪の神は滅んだのですが。彼の死時に放った魔法は、転生する者の生涯の聖の運を　悪や不の運に変える物でした。この魔法は厄介なもので、人間が使うパソコンウイルスと一緒に、ドンドン浸食していくのです。これを終わらせるのに、25年の月日がかかってしまい。最後の一人である　井上　リオ　あなたを元に戻せば終わるはずだったのですが・・・」

リオ「間に合わなかつたのですか？」

神「はい。・・・すいません・・・

リオ「いいですよ。ワザとで無かつたのですし、それに他の人は助かつたんでしょう?」

私での犠牲で住ん良かつたよ。別に偽善者ぶるつもりはないけど、本気でそう思う。

私には、親も家族もいないし、確かに運の無い私には　みんな気味悪がつて近づいてこなかつたけど

親友が3人も出来た、みんな私が死んでもやつぱりねで笑つて見送つてくれそうだし。  
悔いは無いな。

神「あなたという人は・・・」

神は悲しそうな、けれど愛おしそうな表情をした。

リオ「けれど、これから私如何したらいいわけ？？」

神「あなたには、今まで本当は持つはずであった 聖の運 とともに  
に転生してもらいます。」

リオ「へえ？？」

## 普通が一番だと思います。

神「最高神様が、あなたには新たな世界に転生してもいい。幸せになつてももらいたいと。」

リオ「それは、今までの私は無くなつてしまふのですか？私としての意思是消えてしまふの？」

神「あなたが望めば、あなたとしての意思是残りますし、記憶 考え 思考 なども残ります。しかし、あなたの今の容姿をそのままとこつのは無理です。新たな肉親から生まれるので、このままの容姿だと支障が出てきますので。」

そりやあ・・・そうだよね。

両親と違う容姿で生まれてきたとしたら、気味悪がれるだらうし・・・  
・下手したら捨てられるか、殺されるよね。

神「あなたが考へてる事が、在り得るので・・・といひで、如何されますか？願いも可能な限りご希望通りになりますよ。」

ううううううううん〜〜〜

びうじよつ・・・

転生するとしても、願つことなんていからな・・・

取りあえず！

仲のいい両親 は 絶対でしょつ。

後、優しい兄弟がほしいな。

後、普通に暮らせられるだけのお金のある家ならいいかな、貧乏は大変だし

「これぐらいかな。

神「・・・あなたに欲は無いのですか？」

欲？？あるよ～～。

無い人間なんていないよ。

今だけ叶えてくれれば十分 欲出しすぎじゃない！（笑）

神「・・・あなたは変わつてますね・・・」

「ああ～～～。良く言われる（笑）」

神「では、この条件以外は こちらサイドで考えてもよろしいですか？」

「いいよ。」

神「では、今からあなたには転生の渦に入つてもらいます。」

「それつて・・・」

グルグル回つていかないといけないの？？

神「大丈夫ですよ。あなたには眠つてもらい、転生の渦に入つても  
らいますので、次目覚める時は 既に転生済みで新たな人生のスタ  
ートとなつてているでしょ～。」

「そつか。じゃあお願ひします。」

神「では、安らぎを・・・」

「ひしてリオの意識は遠のいた・・・

神サイド

最高神「行つたか。」

神「はい。」

最高神「しかし、変わつた人間出あつたな・・・」

神「本当に、昔 悪の神によつて人生を変えられた者の処理をした時の人間は、欲の塊で宝剣をよこせだの ハーレムにしろだの 淫かつたですからね・・・」

最高神「そうだな。 あそこまでツラい人生を送つてきたのに あんなに真つ直ぐな清らかな魂を持つたものも珍しいからな・・・流石、＝＝＝＝＝の転生者だと言えるな。」

神「そうですね。 あの方の魂ですもの、清らかですわ。」

最高神「しかし、あの子が本来転生後に承けるハズだった 聖の運と 今回の転生の分 そしてこれから転生する分と 総合すると あの子が望んだモノでは補えないぞ。」

神「いちいちサイドにお任せと言つていたので最高神様のしたつようにして宜しいかと。」

最高神「そうか……では」

井上 リオ 24歳

リオ・ノベルズ・ワイナリー

公爵令嬢 4人兄弟の末っ子

兄2人 姉1人

父 王弟 母 元聖女

容姿 色白の 白銀の髪 白銀の目 美少女

能力 魔法特性 全て 魔力 無限

精靈の加護 全ての精靈に好かれる

神子

絶対記憶能力

最高神「取りあえずの能力はこれでいいか。しかし、これでも足りないから」

神「そのうち増やしていつては?」

最高神「そうだな。……あつー!大事なものを忘れていた。」

植物・動物の加護

(話したり無条件で懐く)

こうして、本人は普通が言いつと頼んだのに、普通からドンドン遠ざかるのであった。

**普通が一番だと思います。（後書き）**

次から転生編に移ります。

前書いたのより、詳しく幼少期を書きます。  
うまく書けるかな・・・自信ないです。

誰の転生だったかは、後半にわかつてきます。  
結構重要な要素にするつもりです。

無事生まれた  
(前書き)

忙しくてなかなか書けません・・・今回短いです。  
ごめんなさい。

## 無事生まれた

「 は？？？

ボーッと頭がしている中、  
先ほどまでの事を思い出していた。

そつか・・・新しく生まれ変わったんだ。

「 何所だろ 」？？？

と辺りを見渡すと煌びやかなシャンデリア 美しい家具 ベビーベットまでもが美しい装飾されてていた。  
どうやらお金持ちの家に生まれてらしい。と考えていたところに・・・

ガチャ

ヒドアが開き 美しい女人人が入ってきた。

「 まあまあ！ もつ田を覚ましたの？ 田の色も私に似たのね～。 」

こんな美しい人が母ですか！！

驚きです！ 私も鏡を見るのが楽しみです。

「んこひま、リオ 私がママの ニリア よ。」

リオ「はい。はざめまちでママ。」

？？？アレ？？？言葉が出来ますね。私の予定では、もつと赤ちゃん  
言葉で意味のない言葉が出る予定だつたんですが・・・マズイデス・  
・

ママ「…………あなた言葉が話せるの？」

如何しましよう・・・氣味悪がられて捨てられてしまつのですか？  
やつと母が家族が出来たのに・・・

「JRなんばへでしゅ」

• • • •

予想と違つ反応でビックリして思考がストップしてしまいました。

バンツ！  
！

といきなりドアが開いたかと思うと3人の男女が入ってきた。

見事に息ぴつたり。

ママ「聞いてよ～あなた。この子もう話せるのよ～。ホントあなたに似て天才！～！」

「ママに似たんだよ。」

ママ「いいえ！あなたです。」

となにやら バカツプル なみの会話が飛び交っています。

？？？「本当に話せるの？？」私は貴方の姉のリサよ。よろしくね。

L

リオ「はー。よろしくおねがいいたしました」

リサ「…………ホントにかわいいわ～～～～～！その声でお姉様  
って言つて～～～」

リオ「おねいちゃま？？？」

リサ「~~~~~！」

？？？「姉上、そろそろ僕にも話せてくれませんかね。」

？？？「僕は君の兄で、レイだよ。ようしぐねリオ。」

リオ「よろしくおねがいしましゅ。れいおこいぢやま。」

レイ「…………悪い虫がつかないよ」お兄ちゃんが立つてあげ

るからな。こんなに可愛いんだ・・・そつ害虫が沢山寄ってきてしまつ、害虫駆除をしなくては・・・」

と「ブツブツ恐ろしい事を言つてますね。  
しかし、セシウセモ ガムズイですね。

とみんなそれぞれが、思考を巡らせていく中

本人は 発音がうまくいかない事 ガ気に入らないのか 練習を始めるのであった。

そして、練習している姿を見た家族が またもや、悶えるどりであつた。

## システムはなぜ機能しない。

数ヶ月経つて分かつて来た事がある。

国の名は アustria王国

父の名は、

ルイ・アストリア 42歳

父は、この国の王と従兄弟にあたるらしい。

つまり王族

母は、

ユリア・アストリア 30歳

元男爵家の令嬢

母が15歳の時、伝染病の流行で両親を亡くし他に親戚も居ず  
途方に暮れているところ、王の命令で男爵夫妻の葬式に来た  
父に一眼ぼれされ、無理やり婚約  
父と王によつていつの間にか、周りを囲まれ結婚  
そして、父に流されいつの間にか愛しはじめ今にいたる。

レイ・アストリア 14歳

王都にある 魔法学園の中等部に在籍しているらしい  
カツコいいからかなり、モテているみたい  
王宮晩餐会とかで 漆いらしい（メイド情報）  
まあ・・・残念なのは、シスコンなのが残念  
お姉様に群がる 害虫 どもを退治するために手段を択ばないらしい。（恐ろしい）

私にも凄い・・・今から害虫駆除の準備をしているらしい。  
お姉様みたいに、ソコまで可愛くないのに・・・

姉

リサ・アストリア 13歳

本当は魔法学園に行きたかったが、レイとルイにより  
強制的に女学院に通わされている

13歳にして、フェロモンムンムンの美女

婚約者にと大量の文が届くが、レイ ルイによつて送り返されてい  
る（母情報）

私ラブらしく、物凄く過保護 とにかく凄い・・・

と

まあ、こんな感じ

今もお姉様とお兄様が私の取り合いをしています。

レイ「今日は俺と寝るんだー！」

リサ「まあ！ 14歳にもなる男性が妹と寝るなんてはしたないですわ！ 今日は私と寝るんです。」

といった感じで喧嘩しています。

毎日、学校から帰つて私の取り合い。

何時まで続くか・・・

「今日はお父様と寝ます。」

と、こんな感じで毎日を廻り歩くのでした。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3324z/>

---

少女転生物語

2011年12月25日21時52分発行